

おたかの道湧水園内池周辺の公開

おたかの道湧水園・武蔵国分寺跡資料館・史跡の駅の開園・開館 10 年記念として、おたかの道湧水園内の池周辺整備を行いました。これまで未公開でありました湧水源保全地区の一部について、池の護岸、園路、門の修繕などを行い、令和元年 10 月 18 日より、湧水を引いて作られた池の周辺を散策していただけるようになりました。



おたかの道湧水園内池（北東から）手前に手水鉢

おたかの道湧水園は、江戸時代に国分寺村の名主役を世襲した家系である本多家の屋敷地です。園内には現在、長屋門（江戸末期建築）、倉（明治 33 年創建、昭和 8 年改修）、主屋（平成 7 年新築、平成 19 年に武蔵国分寺跡資料館として改修）などがあります。池周辺の造園時期はわかりませんが、藁葺屋根を持つ平屋建ての主屋があった昭和 45 年頃の池は、現況よりも一回り大きかったそうです。



園路（北から）手前に飛石・奥に門

◆門をくぐると石臼を転用した飛石や、手水鉢のある、庭園がみられます。



◆湧水源観察ポイント（南から）。池に注ぐ湧水源の一つ。



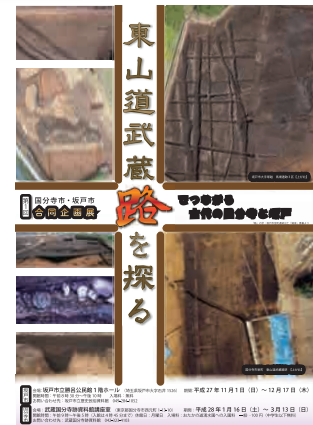
◆池周辺に自生する草花
 ①ばいもゆり（春）・②はんげしょう（初夏）
 ③むさしあぶみ（秋）・④きちじょうそう（秋）

開館 10 周年記念連載企画 武蔵国分寺跡資料館のあゆみ

第三回 平成27年～令和元年のあゆみ—新たな文化財事業への取り組み—

平成 27 年度以降、資料館は新たな事業に取り組んできました。平成 27 年度からは国分寺市と同じく東山道武蔵路跡が所在する埼玉県坂戸市との合同企画展を 3 か年にわたり開催しました。合同企画展では東山道武蔵路跡をテーマに両市で確認された路跡の遺構、出土品、道に近接していた武蔵国分寺跡と勝呂廃寺跡の 3 点に焦点を当てた展示を展開しました。

一方で史跡以外のテーマにも取り組み、平成 27 年度夏季企画展「国分寺市の戦争記録」では戦時中の国分寺町を題材に、当時の生活の様相や市内の戦争に関連した施設・痕跡などを紹介しました。また同 28 年度秋季展示「幻の赤米—国分寺の稲作について—」では全国で 4 例しかない在来品種のジャポニカ種赤米「武蔵国分寺種赤米」を、同 29 年度夏季企画展「国分寺の素人演芸」では昭和 10 年代から 20 年代にかけて地元青年組織が取り組んだ演芸大会をそれぞれ様子を紹介しました。



「東山道武蔵路を探る」チラシ



「国分寺市の戦争記録」展示風景



「幻の赤米」展示風景

平成 27 年度から同 29 年度にかけておたかの道湧水園入口にある市指定重要文化財（建造物）旧本多家住宅長屋門の保存修理工事が行われました。長屋門は本多家の屋敷地に設けられた建造物で、座敷などの居住設備を備えているのが特徴です。工事では長屋門を一度解体し、各部材の破損を修復した後に建物を組み直す方法が取られました。工事と並行して建物の構造や部材の痕跡の調査と土台部分の発掘調査を行い、長屋門の建物構造は建築当初のものであることが判明しました。一方で土壁塗りの体験ワークショップや上棟式を再現したイベントを開催し、保存修理工事を通じて日本の建築物や行事に触れる普及啓発事業も行いました。



長屋門保存修理工事風景

平成 30 年度からは長屋門の一般公開を開始し、来園者は長屋門内部を自由に見学できるようになりました。2 階には展示室を設け、長屋門を活動の拠点としていた知識人・本多雖軒や保存修理工事に伴う調査の成果、国分寺市の近世～近現代の歴史や民俗など、資料館の常設展示ではあまり取り扱ってこなかった分野を主体とした展示を新設しました。



「土壁塗りワークショップ」実施風景

平成 30 年度は長屋門の一般公開に連動した企画展を実施し、1 年を通して国分寺市の近現代の歴史に焦点を当てた展示を開催しました。夏季は長屋門公開開始記念「日本多家住宅長屋門公開記念 新規収蔵品展」を開催し、保存修理工事での調査結果に加え、長屋門を建てた際に作成された仕様・注文書、長屋門に活動の拠

開催期間	企画展・特別展・事柄など
平成27年(2015)7月18日～ 8月30日	国分寺市の戦争記録
平成27年(2015)9月	旧本多家住宅長屋門保存修理工事開始
平成27年(2015)11月1日～ 平成28年(2016)3月13日	第1回国分寺市・坂戸市合同企画展 東山道武蔵路を探る
平成28年(2016)7月23日～ 8月28日	武蔵国分寺の造営(瓦生産)
平成28年(2016)10月1日	入園者10万人記念セミナー
平成28年(2016)11月12日 ～12月25日	幻の赤米 - 国分寺の稲作について -
平成28年(2016)11月1日～ 3月12日	第2回国分寺市・坂戸市合同企画展 東山道武蔵路とともに生きる
平成29年(2017)7月29日～ 9月18日	国分寺の素人演芸
平成29年(2017)9月	旧本多家住宅長屋門保存修理工事完了
平成29年(2017)10月15日 ～12月15日	南比企窯跡群の須恵器と武蔵国分寺 【国分寺市・鳩山町連携事業】
平成29年(2017)10月14日 ～平成30年(2018)3月11日	第3回国分寺市・坂戸市合同企画展 勝呂麩寺の瓦と武蔵国分寺
平成30年(2018)	僧寺伽藍中枢部周辺地域の整備工事完了
平成30年(2018)4月22日	旧本多家住宅長屋門一般公開開始
平成30年(2018)7月28日～ 9月17日	旧本多家住宅長屋門公開記念 新規収蔵品展
平成30年(2018)10月20日 ～11月25日	国分寺の小学校 - 明治時代の学校教育 -
平成31年(2019)3月1日	市立歴史公園史跡武蔵国分寺跡(僧寺中枢地域)開園
令和元年(2019)9月21日～ 12月28日	武蔵国分寺跡資料館開館10周年記念展示 史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡-僧寺伽藍中枢部の調査と史跡整備-

平成27年度～令和元年度の企画展・イベント・行事一覧

周年にあたる平成31年度には武蔵国分寺跡資料館開館10周年記念展示「史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡—僧寺伽藍中枢部の調査と史跡整備—」と市内巡回ミニ展示「史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡」を開催しました。



「国分寺の小学校」展示風景



来園者10万人達成記念セミナーの様子

点を置いた本多雖軒に関連する諸資料、長屋門に所蔵されていた資料を活用して長屋門と本多家が歩んだ歴史を紹介しました。秋季は明治150年を記念して「国分寺市の小学校—明治時代の学校教育—」を開催しました。当時実際に使われた教材を活用し、本多雖軒とその教え子たちが発展させた国分寺市域の小学校の変遷を日本における学校教育制度の歴史と絡めて紹介しました。

資料館が多岐に渡る事業を行う中で平成28年10月1日におたかの道湧水園の来園者が10万人となり、その記念として10万人突破記念キャンペーンも行いました。

史跡の整備も平成30年度に僧寺伽藍中枢部周辺地域の整備工事が竣工し、市立歴史公園史跡武蔵国分寺跡(僧寺中枢地域)としての供用が開始されました。そして開館10

シンポジウム「史跡を使いたおせ！」実施報告



国指定史跡武蔵国分寺跡の僧寺伽藍中枢地区が平成23年～平成30年度の整備工事を経て市立歴史公園として開園しました。このことを記念して令和元年9月21日に国分寺市制施行55周年・国指定史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡整備完了記念シンポジウム「史跡を使いたおせ！」を開催しました。

シンポジウムでは、ランドスケープデザイン、観光まちづくり、パブリックスペース、地域活動の各分野から4名のパネリストを迎え、今後の史跡公園の使い方とそのあり方について、「歴史にふれあう」「歴史を実感する」「歴史を学ぶ」「公園を楽しむ」「公園を使いこなす」をキーワードに各パネリストがそれぞれの立場から議論を展開していました。当日は市内外から189名の方が参加し、各パネリストの議論に熱心に耳を傾けていました。

令和元年度の史跡整備工事

現在、国分寺市では史跡武蔵国分寺跡を歴史公園として活用するための整備工事を行っています。今年度は東僧坊跡地点に説明板を設置しました（右写真）。

僧坊は僧侶が生活していた建物で、武蔵国分僧寺では金堂・講堂の東西両脇に鐘楼と経蔵がありその外側に僧坊がそれぞれ建てられていたと考えられています。東僧坊は発掘調査により、桁行 44.5m、梁行 9m の細長い建物であった事がわかりました。現在東僧坊跡は未整備ですが、解説板を設置する事で当時の様子を詳しく知っていただけるようになりました。



INFORMATION

文化財書籍刊行のお知らせ

国分寺市の文化財〔令和元年版〕

令和元年9月に「国分寺市の文化財〔令和元年版〕」を刊行しました。本書は平成14年の初版刊行以降、新たに文化財に指定された7点の文化財と、巻末に各文化財の分布図を新たに設けました。国分寺市内に所在する各文化財のことをわかりやすく学ぶことができる内容となっています。



発行日：令和元年9月
 サイズ：A5判／フルカラー
 ページ数：60頁
 価格：400円

来館者数

2009年10月18日～2019年12月末日

来館者数累計 141,104名

多くのご来館ありがとうございます

月	来館者数	開館日数
9	831	25
10	1185	27
11	2118	26
12	973	24
合計	5107	102

〔9月～12月の学校見学〕

	学校数	人数
小学生	2	163
中学生	2	71
大学生	2	28

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

〔電車〕○JR国分寺駅下車／徒歩約20分 ○JR西国分寺駅下車／徒歩約15分

〔バス〕○国分寺市循環バス『ぶんバス』万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車／徒歩約8分

○国分寺市循環バス『ぶんバス』日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

○国分寺駅南口より『京王バス』系統番号〈寺83〉・〈寺85〉乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

■開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時45分まで）

■休館日

毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）
 年末年始（12月29日から1月3日まで）
 ※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）

一般……………100円（年間バスポート1,000円）

中学生以下……無料

〔入園料の減免規則があります〕

- (1) 学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
 - (2) 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
 - (3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



ホームページQRコード